



DAISYO CORPORATION

株式会社大庄

平成28年8月期 第2四半期 決算説明会資料

平成28年4月22日



日本の台所

「平成28年熊本地震」に対する支援活動について

このたびの熊本県における「平成28年熊本地震」により被害にあわれた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当社では、熊本県に対し、下記の支援活動を行っております。

1. 支援物資のお届け

・水「佐渡海洋深層水 佐渡C50」500ml	1,200 本
「佐渡海洋深層水 NISACO 300」500ml	480 本
合計	1,680 本
・パン「当社ミヤビ工場製 調理パン・菓子パン」	1,000 個
・マグロカレー缶詰(当社子会社製)	2,400 個

熊本県 健康福祉政策課宛に4月18日(月)お届け済



2. 義援金募金活動

4月18日～5月18日までの1ヶ月間、当グループ直営店舗
（「庄や」「日本海庄や」「やるき茶屋」「歌うんだ村」
「大庄水産」等）550店舗にて義援金の募金活動を実施。
お預かりした義援金は、熊本県を通じて、被災地へお届けいたします。

被災地の一日も早い復旧を祈念いたします。



I. 28年8月期の経営戦略及び具体的施策

II. 28年8月期第2四半期決算の概要

1. 連結業績の内訳	5	6. 連結特別損失の内訳	11
2. 新規出店・改装店実績	6	7. 連結貸借対照表(B/S)	12
3. 都道府県別 グループ店舗数	7	8. 連結キャッシュ・フロー	13
4. 売上高	8-9	9. 関係会社の状況	14
5. 販売費及び一般管理費の内訳	10		

III. 今後の経営計画及び具体的施策について

10. 28/8期 通期計画(連結ベース)	16
11. 28/8期 店舗計画	17
12. 28/下半期計画の策定骨子	18-19
13. 28/8期 中期経営計画(連結ベース)	20

1. 店舗リストラクチャリングを拡大させる背景となった要因

⇒ 28/8期:改装70、閉店50、29/8期:改装80、閉店10に大幅拡大

- (1)「総合居酒屋」から「専門店」の時代へ
→ 店舗は「専門性と特色」を打ち出し、お客様は「明確な目的意識」で来店する時代
- (2)新しい「専門店」業態が絶好調に推移しており、多店舗展開にメドが付いた
→ 『ランプキャップ』『とり家ゑび寿』『羊肉酒場・悟大』『海鮮串天ぷら・中野屋』など、非常に美味しいと評判で、反響の高いヒット業態が続々と誕生
- (3)不動産売却により潤沢になった資金を店舗投資に重点的に投入して行く
→ 将来に向けての「収益力拡大」を図りたい
- (4)立地構造的な不採算店舗については「閉鎖」が最善策と判断
→ 他店への転貸による収益確保も一策

2. 「店舗業態ポートフォリオ」の再構築について

- (1)「主力3業態」中心からの転換を図る
→ 『庄や』『やるき茶屋』『日本海庄や』は再編、絞り込みを進めて行く
→ 『大庄水産』は次の柱業態とすべく、魚料理の専門業態として今後も拡大
- (2)高品質食材を使用した新しい「専門店」業態の開発を続々と企画
→ 現在は「肉料理」がトレンドとなっており、
「赤身」「ヘルシー」「高タンパク・低カロリー」「食べやすい」がキーワード
→ 『馬肉』『バーベキュー』『焼きとん』『カキ小屋』『オイスターバー』などを開発中
- (3)「大型」店舗はレイアウトを分割し、「小規模多機能」店舗への転換を図る
→ 例) 『肉市場』『魚市場』『横丁』業態の開発

3. 新しい事業分野への進出

(1) 「外販事業」の強化

- “每日一括物流システム”の強みを活かし、同業の飲食店舗に対して“コンビニ機能をもった食材卸売業者”として差別化をアピールして行く
- 「新物流センター」の完成とともに本格的に拡大して行く方針

(2) インバウンド事業

- 英文・中文メニュー、指さし会話シート、ウェイボー(中国SNS)開設など様々なツールを開発し、全体に占める売上構成比も確実に拡大中

4. MD改革について

(1) 仕入調達力の強化

- 自社の流通システムを活かし「市場を介さない生産者との直接契約」を積極的に推進
例) 全国漁場から「高鮮度で旬な近海物」を空輸で直送する『羽田市場・超速鮮魚』とのコラボ
- 海外からは「高品質食材」の直輸入を強化
例) カキ・ワイン(ニュージーランド産)、海老、カニ・・・

(2) メニュー開発

- 「専門店」業態で開発した最高位の食材業者、仕入ルートとのシナジーを高め、他の店舗業態にも取り込み、メニュー開発等に活かして行く

(3) 「SNS」の積極的な活用

- “看板”や“ブランド”で選ばれる時代ではなく、消費者が発信するネット情報が非常に重要な時代

1. 連結業績の内訳

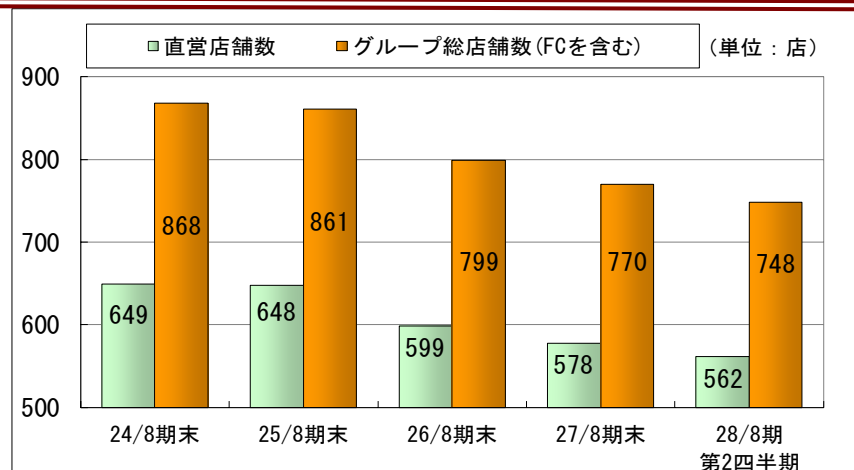
DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成27年8月期 第2四半期実績		平成28年8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
売上高	35,414	100.0%	34,907	100.0%	▲507	—
売上原価	13,228	37.4%	13,064	37.4%	▲163	+0.0%
販売費及び一般管理費	22,720	64.2%	21,776	62.4%	▲944	▲1.8%
営業利益	▲534	▲1.5%	66	0.2%	600	+1.7%
営業外収益	44	0.1%	35	0.1%	▲8	▲0.0%
営業外費用	54	0.2%	41	0.1%	▲13	▲0.0%
経常利益	▲544	▲1.5%	60	0.2%	605	+1.7%
特別利益	375	1.1%	19	0.1%	▲356	▲1.0%
特別損失	252	0.7%	243	0.7%	▲9	▲0.0%
税引前当期純利益	▲421	▲1.2%	▲163	▲0.5%	258	+0.7%
法人税等	141	0.4%	208	0.6%	66	+0.2%
法人税等調整額	▲126	▲0.4%	▲168	▲0.5%	▲42	▲0.1%
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0.0%	5	0.0%	▲0	+0.0%
四半期純利益	▲443	▲1.3%	▲208	▲0.6%	234	+0.7%

2. 新規出店・改装店実績

	28/8期 第2四半期
新規出店	6
店舗改装	18
閉店	22



業態別明細

	27/8期	新規出店	(うち譲受)	改装	(うち業態変更)	閉店	増減	28/8期 第2四半期
庄や	206	1		2	(1) (▲3)	▲4	▲5	201
日本海庄や	109			1	(1) (▲2)	▲6	▲7	102
※カラオケ業態	68					▲3	▲3	65
やるき茶屋	54				(▲2)	▲2	▲4	50
大庄水産	20	3		5	(5)		8	28
築地日本海	20						0	20
築地寿司岩	18					▲2	▲2	16
塩梅	12						0	12
呑兵衛	8			1	(1) (▲1)		0	8
MIYABI CAFE	3	1		1	(1)		2	5
マ・メゾン	4						0	4
焼酎屋童	4						0	4
もつ鍋お多福	4					▲1	▲1	3
とり家 ㊿び寿	1	1	(1)	1	(1)		2	3
その他	47			7	(7) (▲9)	▲4	▲6	41
大庄合計	578	6	(1)	18	(17) (▲17)	▲22	▲16	562

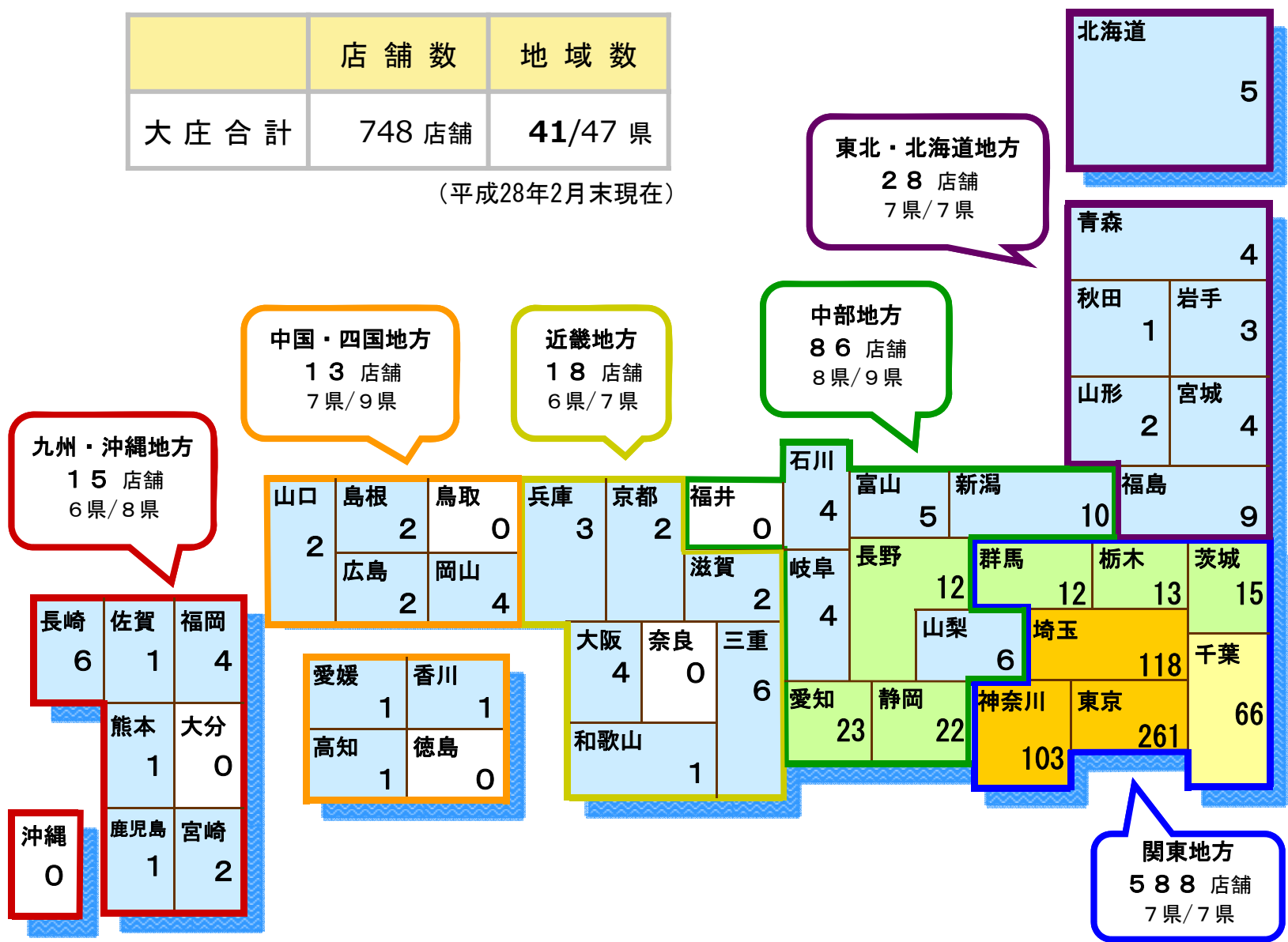
※「カラオケ業態」の内訳：歌うんだ村 58店舗、ファンタジー 7店舗

3. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄合計	748店舗	41/47県

(平成28年2月末現在)

0店舗
1~10店舗
11~30店舗
31~100店舗
101~店舗



4. 売上高

(1) 既存店売上高（対前年比）

<前年比実績推移表>

	26/8期	27/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	28/2期 累計	3月
売上高	93.5%	101.0%	102.2%	106.1%	97.8%	102.5%	102.1%	99.9%	101.8%	97.2%
客数	93.6%	98.8%	98.5%	101.6%	96.0%	99.9%	99.8%	101.1%	99.5%	95.7%
客単価	99.8%	102.2%	103.8%	104.3%	101.9%	102.6%	102.4%	98.8%	102.4%	101.5%

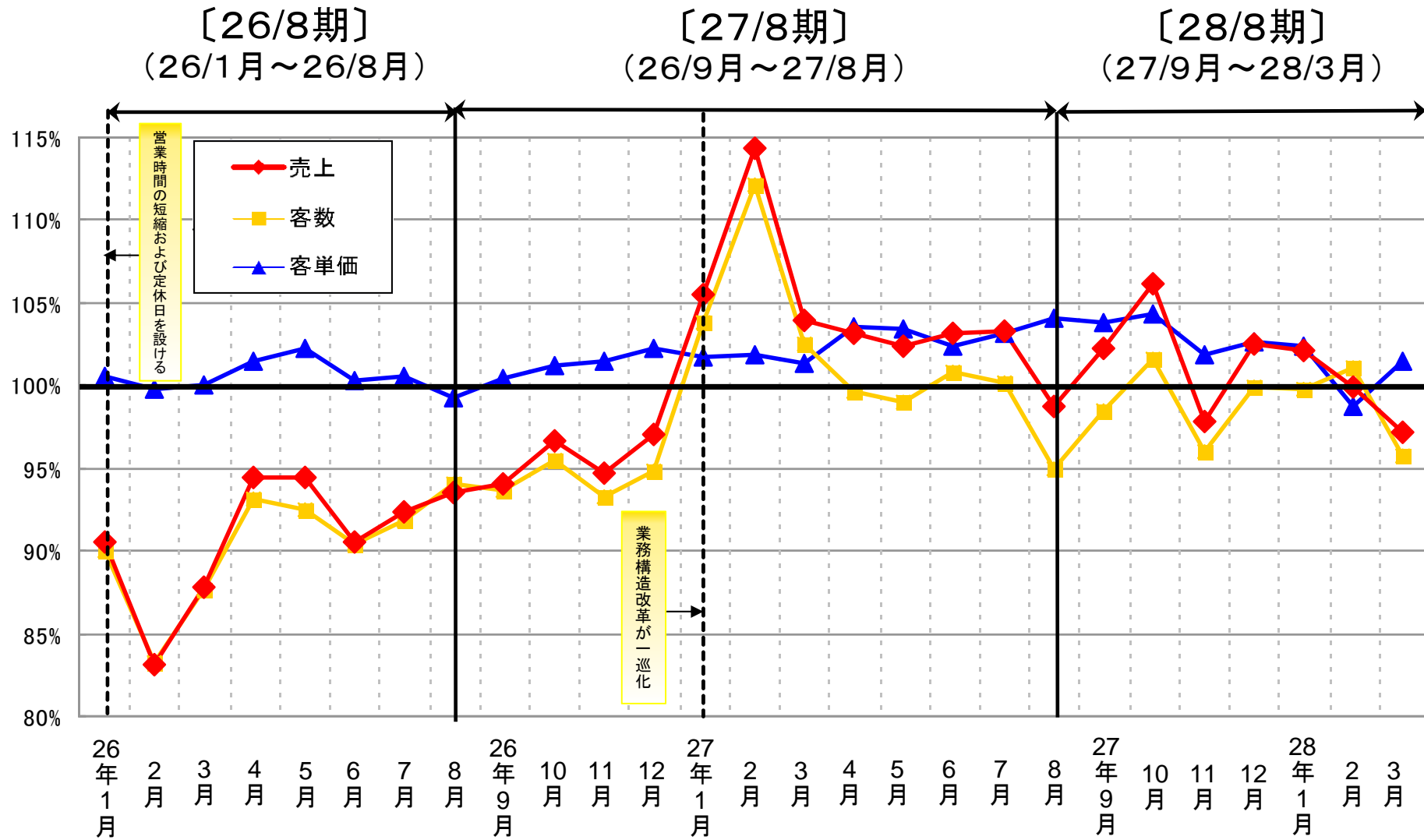
<カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	28/2期 累計
売上高	98.2%	104.9%	102.0%	101.8%
客数	98.3%	102.9%	99.6%	99.5%
客単価	99.8%	101.9%	102.4%	102.4%

<カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
26/2期累計	14.6%	14.5%	70.9%
27/2期累計	14.4%	13.5%	72.1%
28/2期累計	13.5%	13.8%	72.7%
前期増減率	▲0.9%	+0.3%	+0.6%

(2) 既存店売上高・客数・客単価の前年比月別推移表



5. 販売費及び一般管理費の内訳

【単位：百万円】

	平成27年8月期 第2四半期実績		平成28年8月期 第2四半期実績		増減額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	12,644	35.7%	12,203	35.0%	▲440	▲0.7%
地代家賃	3,586	10.1%	3,419	9.8%	▲167	▲0.3%
水道光熱費	1,851	5.2%	1,598	4.6%	▲253	▲0.6%
販促・広宣費	835	2.4%	813	2.3%	▲22	▲0.1%
減価償却費	890	2.5%	805	2.3%	▲84	▲0.2%
消耗備品費	629	1.8%	639	1.8%	10	+0.0%
衛生費	509	1.4%	473	1.4%	▲35	▲0.0%
その他	1,773	5.0%	1,822	5.2%	49	+0.2%
販売費及び一般管理費	22,720	64.2%	21,776	62.4%	▲944	▲1.8%

6. 連結特別損失の内訳

【単位：百万円】

項目	27/8期 第2四半期	28/8期 第2四半期	増減	備考
減損損失	171	128	▲42	
固定資産除却損	57	78	20	
店舗関係整理損	24	21	▲2	
固定資産売却損	—	14	14	
特別損失	252	243	▲9	

7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	27/8期	28/8期 第2四半期	増減額
流動資産	15,264	14,843	▲420
現預金	11,390	11,004	▲385
売掛金	2,278	2,106	▲171
棚卸資産	641	637	▲4
短期繰延税金資産	317	414	97
その他	636	680	44
固定資産	27,455	27,071	▲384
有形固定資産	15,609	15,530	▲78
無形固定資産	1,092	1,264	172
敷金・保証金	10,198	9,722	▲475
長期繰延税金資産	42	73	31
その他	511	478	▲32
資産合計	42,719	41,914	▲804

	27/8期	28/8期 第2四半期	増減額(率)
有利子負債	9,442	9,179	▲262
現預金	11,390	11,004	▲385
NET有利子負債	▲1,947	▲1,824	123
自己資本比率	51.2%	51.3%	+0.1%
有利子負債依存度	22.1%	21.9%	▲0.2%

	27/8期	28/8期 第2四半期	増減額
負債合計	20,665	20,249	▲416
買掛金	2,242	1,936	▲306
未払金	2,659	2,402	▲257
借入金(長短)	9,092	8,929	▲162
社債	350	250	▲100
リース債務	654	544	▲109
資産除去債務(長短)	1,062	1,064	2
賞与引当金	94	698	604
その他	4,510	4,423	▲87
純資産合計	22,053	21,665	▲388
株主資本	22,177	21,803	▲374
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	9,908	9,908	—
利益剰余金	4,245	3,871	▲374
自己株式	▲602	▲602	—
その他包括利益累計額	▲285	▲306	▲20
非支配株主持分	161	168	6
負債・純資産合計	42,719	41,914	▲804

8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成27年8月期 第2四半期	平成28年8月期 第2四半期	増減額
1. 営業活動CF	824	974	150
税引前利益	▲421	▲163	258
減価償却費	924	834	▲89
減損損失	171	128	▲42
賞与引当金増減額	425	603	177
その他引当金純増減額	157	▲65	▲223
法人税等	▲105	▲281	▲176
その他営業CF	▲327	▲80	246
2. 投資活動CF	986	▲772	▲1,758
有形固定資産の取得による支出	▲452	▲917	▲465
有形固定資産の売却による収入	1,166	13	▲1,152
敷金・保証金の差入・回収純増減額	334	372	37
その他投資CF	▲62	▲240	▲178
※ フリーキャッシュ・フロー	(1,810)	(202)	(▲1,608)
3. 財務活動CF	532	▲586	▲1,119
長短借入金の純増減額	2,018	▲162	▲2,180
社債の純増減額	▲1,100	▲100	1,000
リース債務の返済支出	▲218	▲203	15
配当金の支払額	▲166	▲166	0
その他財務CF	▲0	45	45
4. 現金及び現金同等物の増減額	2,343	▲384	▲2,727

9. 関係会社の状況

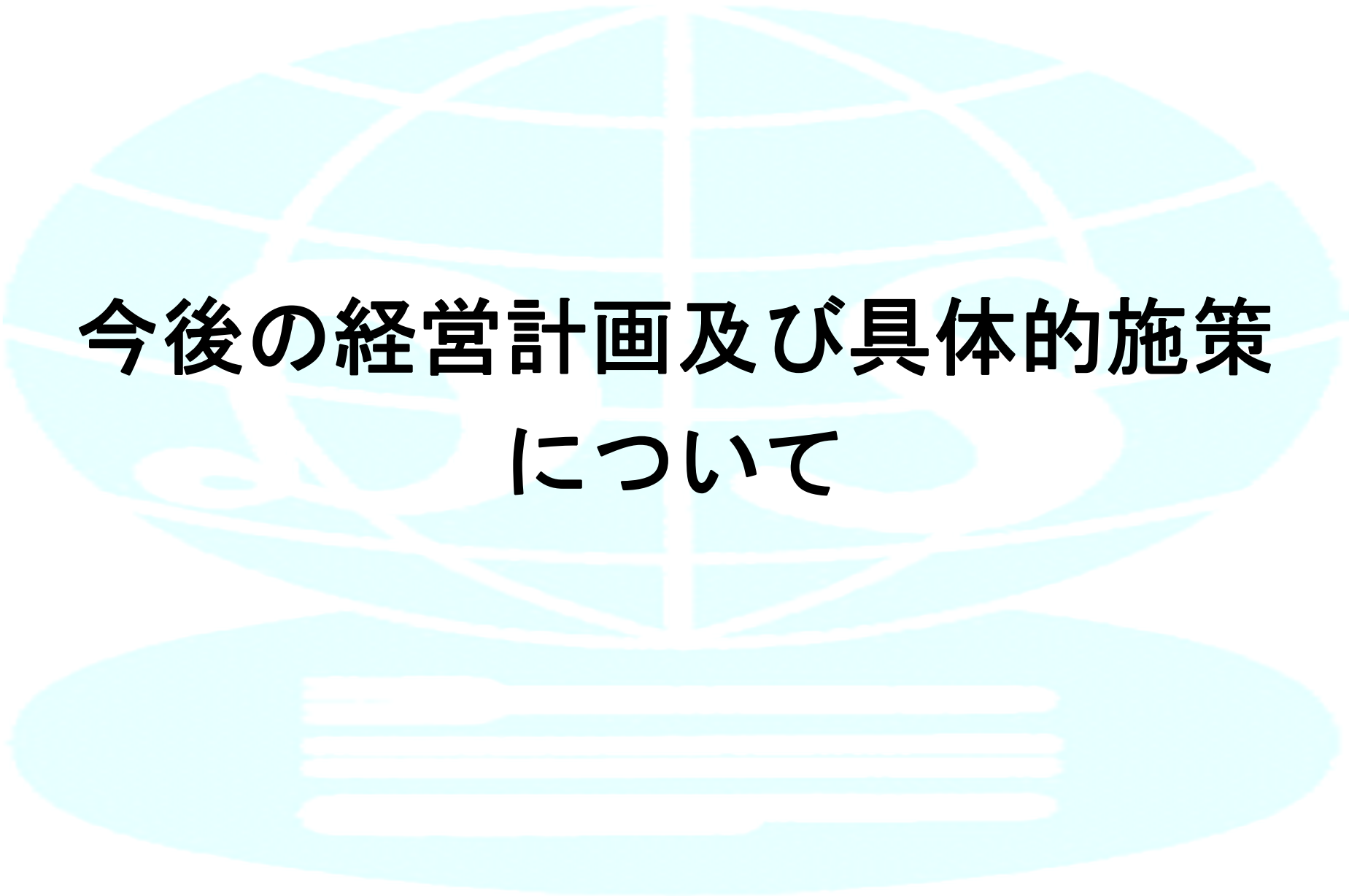
➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	28/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備 考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 中央区	90	2,147	100.0%	・築地市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 中央区	99	3,036	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都 中央区	60	288	75.0%	・ソーシャルビルの転貸業務が柱 ・グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
(株)アルス	病院・事業用 給食施設の運営	東京都 大田区	80	1,131	63.0%	・柱である病院給食事業の収益基盤が確立 ・25年8月よりサービス付高齢者住宅事業を開始
新潟県佐渡 海洋深層水(株)	飲料水等の 製造・販売	新潟県 佐渡市	96	94	100.0%	・海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造
(株)ミッドワーク	業務用空調機の 洗浄・修理	千葉県 柏市	10	21	100.0%	・27年10月に連結子会社化 ・業務用エアコン洗浄及びメンテナンス業務が主

➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	28/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備 考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の卸売・ 配送業	東京都 葛飾区	10	1,133	20.0%	・当社並びにF C店舗に酒・飲料等を卸売・配送



今後の経営計画及び具体的施策 について

10. 28年8月期 通期計画(連結ベース)

(単位：百万円)

	27/上期 実績	28/上期 実績	増減	27/下期 実績	28/下期 計画	増減	27/8期 実績	28/8期 通期計画	増減
売上高	35,414	34,907	▲507	35,350	34,343	▲1,007	70,765	69,250	▲1,515
営業利益	▲534	66	600	724	534	▲190	190	600	409
経常利益	▲544	60	605	726	540	▲186	181	600	418
当期純利益	▲443	▲208	234	▲1,605	1,948	3,554	▲2,049	1,740	3,789

11. 28/8期 店舗計画

(1) 新規出店

	28/上期 実績	28/下期 計画	28/8期 通期計画
連結	6 店舗	4 店舗	10 店舗

(2) 改装店舗

	28/上期 実績	28/下期 計画	28/8期 通期計画
連結	18 店舗	52 店舗	70 店舗

(3) 閉店

	28/上期 実績	28/下期 計画	28/8期 通期計画
連結	22 店舗	28 店舗	50 店舗

(1) 売上高

- ・「既存店売上計画」は前年比100%で策定
- ・収益力アップを目指した店舗リストラクチャリングの強化
→ 改装、閉店の増加により売上高は減少、
前期比 下半期▲10億円、通期 約▲15億円

(2) 売上原価

- ・「売上原価率」は、下半期 37.3%(前年下半期比+0.5%)、
通期 37.4%(前期比+0.3%)を見込む

(3) 販管費

- ・「販管费率」は、上期前期比▲1.8%と低下トレンドにあるものの、
改装の集中等による経費増加を織込み、通期▲0.9%に止まる
→ 店舗ベース(既存店)では、前年下半期比▲0.5%の改善を見込む

(4) 特別利益

- ・ 大田区東糀谷 約2,700坪において、“新物流センター”の1年半後の完成を目指している
- ・ 当初“新物流センター”予定地の足立区入谷土地売却により、
「固定資産売却益」4,761百万円を計上（28年3月）
→ 単体ベースで 3,808百万円、(株)米川水産で 952百万円 を計上

(5) 特別損失

- ・ 店舗リストラ及び遊休資産の売却等により、
「固定資産売却損」や「固定資産除却損」等の実現損 約18億円を見込む
- ・ 下半期の「減損損失」計上額としては、約8億円を見込む

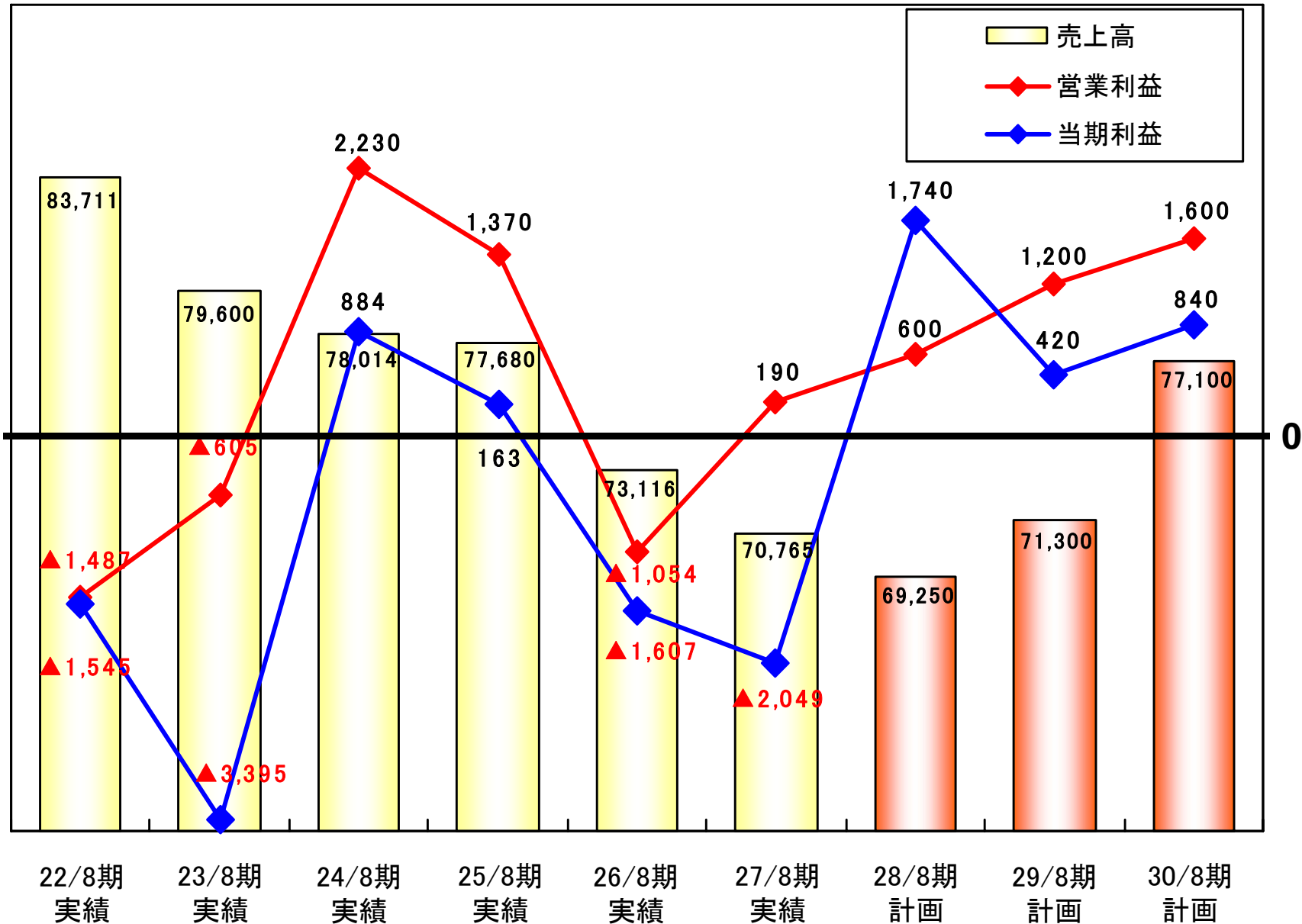
13. 中期経営計画（連結ベース）

1. 当面は、収益源である「既存店舗対策」を強化し、「店舗改装」を最重点に取り組む
2. 収益力基盤が固まり次第、「新規出店」を拡大していく

	26/8期 実績	構成比	27/8期 実績	構成比	28/8期 計画	構成比	29/8期 計画	構成比	30/8期 計画	構成比
売上高	73,116	100.0%	70,765	100.0%	69,250	100.0%	71,300	100.0%	77,100	100.0%
営業利益	▲1,054	▲1.4%	190	0.3%	600	0.9%	1,200	1.7%	1,600	2.1%
経常利益	▲1,147	▲1.6%	181	0.3%	600	0.9%	1,200	1.7%	1,600	2.1%
当期純利益	▲1,607	▲2.2%	▲2,049	▲2.9%	1,740	2.5%	420	0.6%	840	1.1%
新規出店数	4 店舗	—	5 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—	30 店舗	—
改装店数	16 店舗	—	18 店舗	—	70 店舗	—	80 店舗	—	20 店舗	—
閉店数	53 店舗	—	26 店舗	—	50 店舗	—	10 店舗	—	5 店舗	—
期末店舗数	599 店舗	—	578 店舗	—	538 店舗	—	538 店舗	—	563 店舗	—

通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移表

(単位:百万円)



【将来見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 経営企画部****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**